

つくばサイエンス TSUKUBA SCIENCE

東日本大震災で被災された方々にお見舞い申し上げます

この度、東日本大震災において被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

3月11日午後2時46分大きな揺れを感じました。一瞬何が起こったかわからない、今まで経験したことのない揺れでした。

少ししてテレビをつけてみると、大変なことになっていました。そして外に出てみると、近くでも道路、家などいろいろなところが壊れており、場所によってはライフラインが止まっていました。

その後、福島原発の問題が起こり、沢山の外国人が日本から出国してしまいました。

まだ、原発の問題が解決したわけではありませんが、少しずつ戻ってきている感じがしています。

「今私たちができること」を考えながら今年の事業を展開して行きたいと思っております。今まで同様のご協力をお願いします。

がんばれ日本



つくば市国際交流協会
会長 沼尻 博

『つくば市国際交流協会賛助会員2011募集』

【会員区分】

- 個人会員 2,000円
- 団体会員 10,000円
- 法人会員 20,000円



2011保冷バッグ

【賛助会員の特典】

- ・協会情報誌などの情報提供
- ・国際交流フェアへの応募資格
- ・缶ビールが6本入る保冷バッグの進呈
- ・協会の提携店(JTB、日本旅行、近畿日本ツーリスト、カスミトラベル)での割引 ほか

【事業内容】

フェスティバル事業、医療通訳ボランティア育成・派遣・登録事業、青少年交流事業、外国人のための日本語スピーチ大会、在住外国人調査事業、外国人支援事業、ボランティア支援事業、パスポート写真と紙証紙等販売



日本語カフェ



1/25の様子



2/22の様子

日本語を話す外国人と日本人が交流する場です。日本語で会話を楽しみながら、友達を作り、情報を交換し、異文化の交流、日本語でのコミュニケーション・スキルの向上をはかろうとするものです。各回、日本人と外国人が混ざり、楽しい交流ができました。

- 12月12日(日)午後1時～午後2時30分
会場 筑波学院大学
トピックス:「ちょっと和風のオーナメントを作ろう！」
講師 柏崎多美子
材料費 1,000円 参加者 16人

- 1月25日(火)午前10時～午後1時
会場 吾妻公民館調理室
トピックス:「つくばでの魚の買い方、食べ方」
講師 駒形和男
材料費 500円 参加者 24人

- 2月22日(火)午前10時～午後1時
会場 吾妻公民館調理室
トピックス:「おいしいご飯とのりまき」
講師 守中夫妻
材料費 300円 参加者21人



第9回理事会開催



3月29日午後2時からつくばカピオにおいて、第9回理事会が開催されました。参加理事は全部で11名。

議題は

1. 平成22年度補正予算について
2. 平成23年度事業計画及び予算についてを審議されました。

どちらにつきましても事務局案が満場一致につき採択されました。理事会資料が協会にあります。



つくばフェスティバル2011

国際交流フェア開催

今回は東日本大震災の支援イベントのコンセプトも加わり開催することになりました。皆様のお越し、ご協力をお願いします！

- 日時 5月14日(土)午前11時～午後5時
15日(日)午前10時～午後4時
- 内容 各国の紹介、料理、物産販売
各国からの応援メッセージ
世界のステージ(15日のみ)

その他、いろいろな催し物を計画しています。



第3回日本語で話そう！つくばチャレンジ

- 2月6日(日)午前9時30分～午後4時まで
会場 つくば市役所会議室

日本語を勉強している人が、今までの成果、またレベルを知り、他の教室の人たちとの交流を図ることを目的に、ディスカッション形式での大会を開催しました。

参加者 初中級 9人(3カ国)
中上級8人(7カ国)



結果

【初中級】

最優秀賞 シン・ミンジ(韓国)
優秀賞 エン・キンゲツ(中国)、デ・キャリ・ラザルテ・イボンヌ・ネリ(ペルー)

【中上級】

最優秀賞 セイ・カンカ(中国)
優秀賞 クハジォヴァー・エヴァ(チェコ共和国)、ムラドワ・エーラ(ウズベキスタン) 他



日本語講師ブラッシュアップ講座

2月26日(土)午後、インフォメーションセンターで小林典子先生(元筑波大大学院教授)にお願いして『分かることと使えることは違う』という演題でボランティア日本語講師を対象にした講演をお願いしました。

2年前にお願いした講演が好評だったので今回はアンコール講演のかたちになりました。

日本語を教えてみると、一生懸命教えたつもりなのになかなか使ってもらえないという経験をよくしますが、頭で理解するだけでなく実際に使えるようにするためにはどうすればいいか、外国語学習の考え方、練習の仕方などいろいろな角度から先生の長いご経験にもとづいたお話をいただき、40

名ほどの聴衆に新たなチャレンジに対する自信と勇気を与えてくださいました。



小林先生



ワークショップの様子



災害時多言語情報センター一運営訓練参加報告(平成23年2月20日)

群馬県国際課主催の災害時多言語情報センター運営訓練に参加しました。

M7.8の地震が発生し大災害が発生したという設定で、市からセンター設置を依頼されます。

センターには、管理班、情報班、翻訳班が組まれます。

管理班は災害対策本部から避難所に避難した外国人リストを受取り、それをマップ上に記入し、外国人分布を把握します。

情報班は本部から送られる様々な情報(物資の配給、ライフライン被害・復旧状況、安否確認など)を交通、ライフライン、生活情報の3つに分け、外国人に必要と思われる情報を抽出して箇条書きにし、翻訳班に送ります。

翻訳班はそれをもとに各国語に翻訳しました。その際、日本語の表現が当てはまらない場合は情報班に戻し、日本語の表現を書き直し、改めて各国語に翻訳しました。(これは言語毎に違う情報にならないようにするためである。)各班の作業が終了すると全体を巡回班に分けて、見回りを開始しました。

避難所では、①翻訳された文章を避難者に伝達した。②被災者全体に関する質問は巡回レポートに、個人的な質問は個人レポートに記載した。③情報を持っていないものは憶測で答えず記録して後日伝えることとした。

まとめとして、

- ①翻訳・持参した内容(被災者が必要と判断して翻訳したもの)と、被災者が必要とするには相違があり、被災者の目線に沿った情報を選ぶ必要があること。
 - ②記録に「いつ、だれが、どこで、どうした」を記載しないと情報の新旧が判断できず混乱すること。
 - ③配給食にはアレルギーや宗教上の対応がされないため、個人対応を促す必要があること。
 - ④避難所から仕事に行く人もいるので、交通インフラ情報が必要なこと。
 - ⑤妊婦への対応が必要なこと
- などがわかりました。

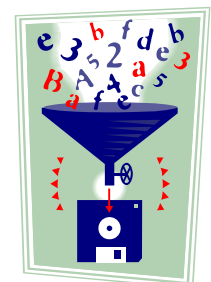
実際は更に混乱するため、普段からの取り組みが必要であり、停電すると印刷できないので必要なものは予め用意することなどを学びました。



避難所の様子



避難グッズ





つくば市国際交流協会
TSUKUBA INTERNATIONAL
ASSOCIATION

〒305-0032

つくば市竹園1-10-1

つくばカピオ別棟

電話 029(869)7675

FAX 029(851)9797

Email: inter@tsukubacity.or.jp

ホームページもご覧下さい

<http://www.tsukubacity.or.jp/inter>

～国際交流協会事務局長から～

4月1日から、口田前局長の後を受けました武井と申します。

この3月末まで2年間、(社)観光コンベンション協会
で、観光客の誘致活動、コンベンションの誘致と支援、フィ
ルムコミッション事業等に取り組んできました。

国際交流事業については、これまでおおまかな理解はして
いたつもりですが、実際の業務についてみると、日々新た、
五里霧中の状態です。

今後、協会の目標とする国際相互理解、地域の多文化共生
により国際平和に寄与するまちづくりへの貢献、それを推進
するための、在住外国人の生活・コミュニケーション支援、
多文化共生の地域づくりに関する事業等の充実に、おもてな
しの心を持って取り組んでいく所存ですので、ご指導の程よ
ろしくお願いいたします。

※ 住まいは、日本の道百選の「つくば道」ぞいに
あります。お近くにお越しの際は、どうぞお立ち寄り
下さい。

現在の一番の趣味は、農作業です。

興味をお持ちの方は、農地を無償提供致しますので

ご一報下さい。(武井)



編集後記

桜が咲きいつもの4月が訪れました。

3月に大きな震災があったのですが、つくばの桜
は昨年と同じように咲きました。とてもきれいでし
た。毎日テレビ、新聞では明るい話題が少なく、震災
のテーマが多い中で、この桜の開花は、ほんの
ひととき季節の移り変わりを教えてくれ、気持ちを
和らげてくれました。



(Y)



印紙・証紙・写真売り場は つくば市庁舎1F北口付近

パスポートなど各種証明写真・印紙・証紙



・各種証明写真 カラー(3枚セット) 1,500円 ・印紙・証紙・切手等の販売

販売時間 8:30～16:45

電話: 029-854-8510

ホット
ニュース



平成23年事業計画

★ 運営方針 ★

つくば市における国際理解や多文化共生を基調として、海外との
交流や外国人支援などに関心を寄せる市民や、市内に在住する外
国人が交流し、人的ネットワークを構築し、平和で豊かな市民生
活の向上に寄与する。

事業	内容
1フェスティバル事業	つくば市在住の外国人との相互理解を深め、国際交流の推進を図るため、各種イベントを実施する。今年度は東日本大震災のチャリティーイベントも兼ねる。 実施時期 5月14日(土)、15日(日) (つくばフェスティバル時) 場 所 センター広場 内 容 世界の舞踊と歌の披露、各国の料理実演販売、国際理解プログラム
2医療通訳ボランティア育成派遣及び登録事業	外国人在住者が安心して病院で医療を受けられることを目指し、医療通訳ボランティアの研修会の開催や、協定病院への派遣及び人材の発掘、登録事業を展開する。
3賛助会運営事業	協会の運営資金の充実に目指し、賛助会員を募集し、会費を集める。
4広報事業	HPの運営とニュースレターの発行をし、協会のPRにつとめる。
5青少年交流事業	国際理解と青少年のうちから国際感覚を養うことを目的として、姉妹・交流都市など各国との相互交流を行う。日韓中国国際親善青少年少女サッカー大会(今年度つくば開催は中止)
6日本語スピーチ大会	日本語を勉強している外国人を対象に、日本語勉強の啓発と国際都市つくばをPRするために開催する。
7外国人支援事業	外国人を各種イベントに派遣し、異文化交流を通して多文化共生の推進を図る。 ・防災訓練への参加 ・幼稚園、小中学校への派遣 等
8パスポートセンター証紙、写真事業	つくば市パスポートセンターでの写真と証紙と印紙の販売